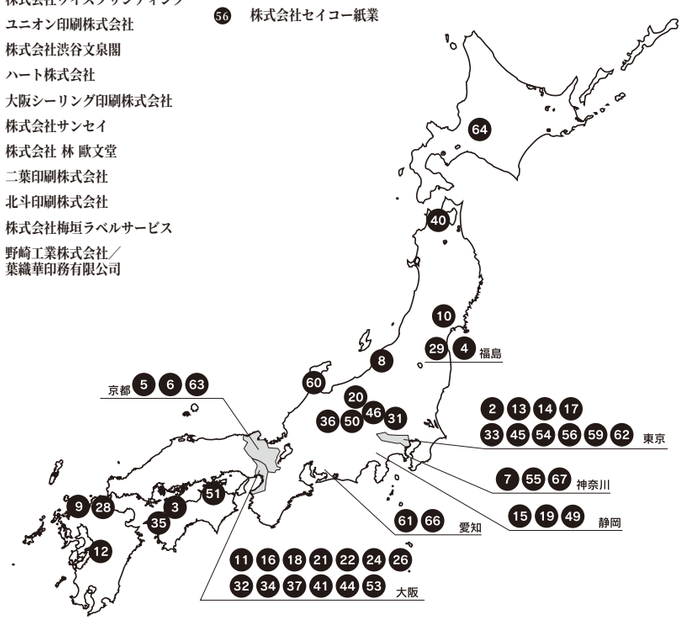
「和」をもって、共存共栄を目指す情報紙。
Takebashi Community Press
竹橋コミュニティプレス
October 2007
27号
平成19年10月2日発行
発行人／犬養 俊輔
発行／株式会社 帆風
編集長／小原 紹一郎
編集／株式会社 帆風　小原デザインセンター
スタッフ／佐藤 宏幸・横田 みえこ・井口 健太郎・鳴脇 章恵
画像補正／山田豊
CTP印刷／竹橋プリンティングセンター

竹橋コミュニティスクエアのメンバーご紹介

2 星野製本株式会社
3 株式会社システムナム
4 福島カラー印刷株式会社
5 株式会社サンエムカラー
6 株式会社やまとカーボン社
7 株式会社日相印刷
8 株式会社三幸堂
9 株式会社三光
10 70 三協タックラベル株式会社
11 石本紙工株式会社
12 48 敷島印刷株式会社
13 マコト印刷株式会社
14 白山印刷株式会社
15 大日紙業株式会社
16 株式会社光陽社
17 株式会社ジャパンアート
18 株式会社ウイズプリンティング
19 ユニオン印刷株式会社
20 株式会社渋谷文泉閣
21 ハート株式会社
22 大阪シーリング印刷株式会社
24 株式会社サンセイ
26 株式会社 林 畝文堂
28 二葉印刷株式会社
29 北斗印刷株式会社
31 株式会社梅垣ラベルサービス
32 野崎工業株式会社／葉織華印務有限公司
33 株式会社イーアンドイー
34 株式会社イマイチ
35 佐川印刷株式会社
36 高山印刷株式会社
37 大享印刷株式会社
40 凸版メディア株式会社
41 新日本カレンダー株式会社 福州信日華印刷有限公司
44 旭紙工株式会社
45 株式会社あるす
46 ピーエムシー株式会社
49 中部印刷株式会社
50 株式会社大包
51 滝川印刷株式会社
53 株式会社ダイム
54 株式会社ムトウユニパック
55 58 冨士印刷株式会社
56 株式会社セイコー紙業
59 彩光印刷株式会社
60 宮下印刷株式会社
61 大同紙工印刷株式会社
62 65 69 末広印刷株式会社
63 株式会社図書印刷同朋舎
64 有限会社プロセスレボ
66 株式会社エスケイワード
67 株式会社大和



（ナンバー、順序はブース番号順・敬称略／10月1日現在）

未曾有の生活習慣病社会を勝ち抜く経営者の為の
最新の予防医学
第25回 竹橋コミュニティスクエア交流会 9月4日（火）

9月4日（火）、毎日ホールで行われた、第25回コミュニティスクエア交流会に49社118名（内報道4社4名）が集まった。

第1部では、「未曾有の生活習慣病社会を勝ち抜く経営者の為の最新の予防医学」と題して、杏林予防医学研究所の山田豊文所長が講演を行った。

山田氏は、研究によって明らかになってきた分子栄養学について詳しく説明し、間違った認識を指摘する迫力に会場は圧倒された。終了後の書籍販売コーナーには長蛇の列も…。

続いて、恒例となった技術セミナーでは、コニカミノルタグラフィックイメージング（株）・マーケティング部の杉山晴美課長が「日本の色校正市場の現状」を分析し、校正刷りをデジタル化することによるメリットを語った。

1周年を迎えたSIMC・栗田氏は、「当初の目標はクリア。ご協力ありがとうございました。これから、さらに大きくしていくために活動していきます」と話し、現在、顧客数は65社だが年内には100社を目指すと力強く宣言した。

分子栄養学の研究を進める山田氏は、これまでに、読売ジャイアンツや数々のプロアスリートを指導してきた。講演の3日前に2000本安打を達成した広島カープの前田選手もその1人。前田夫人の「山田先生と出会わなかったら、この2000本安打はなかった」というコメントが新聞に掲載されるなど、各方面で話題を呼んでいる。

「多くの日本人は、深刻に、生命の維持に必要な栄養が欠乏している」と山田氏は切り出す。「アスリートの世界でも、日本人選手は怪我が多い。外国人選手の方がはるかに健康」と話し、その原因が栄養学の未発達によるものだという。

昨年12月には、日本でも愛用されるマーガリンが、ニューヨーク市で法律により禁止されるという象徴的なニュースが報道された。「外国の煙草の箱には、怖いことが沢山明記されているが、その煙草でさえ売るのは自由。日本は、世界の大きな流れから完全に取り残されている」と山田氏。

先ず、生物にとって最も重要な骨について、「世界の長寿国は必ず骨太、日本では骨粗鬆症が増加している」と、日本の栄養教育の間違いを指摘する。「日本の医学は分析型。骨の成分のカルシウムを多く含む牛乳を、学校でも病院でも強制的に飲ませる。でも、骨をつくることとは全く別で、重要なプロセスが抜けてしまっている」。

山田氏の研究する分子栄養学と呼ばれるものは、「細胞に必要な栄養学。何のために食べるかというと、生命の維持に細胞が必要なものを合成するため」。肉類や魚、大豆、米などのタンパク質がなければ必要なものが合成できない。それぞれ違うタンパク質なのに、同じ人間の生命に変えている仕組みとは「アルファベットによく似ている。使った原稿で、また細胞の中に文章を作り直している行為。それが生命活動」であると解説する。「人間ドッグに行って、検査に引っかかれば病気、でなければ健康という。病気というのは、タンパク質が消化されてアミノ酸になって、これを細胞が作り替えるという仕組みを上手く使えないことで、これが分からなければ医学は論じられない。細胞を活性化させることが重要」といい、「牛乳で骨がつくられることはあり得ない。逆に骨が弱くなる」と力説。

何故、牛乳を飲むと骨が弱くなるのか。「動物性タンパク質が一番の原因。余分な酸を生成して骨を洗い出し、カルシウムを溶かす」。このことは、ハーバード大学の研究によっても明らかになっている。カルシウムの利用効率をみたとき、グラス一杯の牛乳に比べて、小さじ一杯の海藻の方が1000倍も高いという。

また、日本人のような農耕民族は、必ず乳糖分解酵素が落ちていき、歴史の中で対応する身体になった、寒冷地・乾燥地の住人を除いて、1歳を過ぎたら乳製品は消化する働きがなくなるという。ハーバード大学が世界中に発表したとき、「日本は研究をやり直す責任があった。そして、学校給食で健康に疑いのあるものの強制をやめて、選択制にすることが必要」と語気を強める。そして、「皆さんには、ずっと信用してきた日本の栄養教育に疑問を感じて欲しい」と。

次に、ブームになっているメタボリックシンドロームの原因となる油について、「油は最も健康に関係する。代表的なものにマーガリンがある。脅かすわけじゃないが、全てのマーガリンは帰ったら捨ててください」と山田氏は警告する。

マーガリンは、トランス脂肪というプラスチックにそっくりな分子で構成されている。バターはすぐにカビが生えるのに対し、マーガリンは2年経ってもカビも生えない、と実験結果も…。これが身体のあらゆる細胞の機能を弱め、心臓病、糖尿病の原因にもなるという。さらに、「トランス脂肪は脳の酵素も殺してしまう」ため、切れる子供や親、学力低下の原因とも考えられる。今や、世界中で禁止されており、ここでも、トランス脂肪に対する日本の認知の低さが窺える。

そして、「油が変わると、人生が変わる」と山田氏は締めくくった。

松井委員長の「今年もあと4ヶ月。このコミュニティスクエアを、日本だけじゃなく世界に知らせていこう。皆さんの力で、印刷産業を変えましょう！」の力強い言葉で、惜しまれつつも21時に閉幕した。

松井委員長の言葉に聞き入る

コミュニティ交流会 第2部懇親会

はじめに、瀧本副委員長から「残暑が続く中で、皆さんお元気に参加していただいて、ありがとうございます」と挨拶があり、声高らかに乾杯の音頭で懇親会がスタート。

講演を終えた山田氏も交えて、アドバイスを受ける姿も見られ、会場に設けられた書籍販売コーナーも大好評。αリノレン酸を多く含むというフラックスオイルも販売され、参加者の興味を集めていた。

締めは、松井委員長の「今年もあと4ヶ月。このコミュニティスクエアを、日本だけじゃなく世界に知らせていこう。皆さんの力で、印刷産業を変えましょう！」の力強い言葉で、惜しまれつつも21時に閉幕した。

田氏は強調する。日常で使用する油には、オメガ3必須脂肪酸（αリノレン酸）とオメガ6必須脂肪酸（リノール酸）が含有されている。現代人の殆どが、この2つのバランスが悪く高炎症状態にあるという。ベニバナ油・コーン油に代表して多く含まれるリノール酸には、「血液を固め、炎症を促進、気管を収縮する」作用があり、αリノレン酸を多く含むフラックスオイルは、相反する作用をすることで注目を浴びている。「全ての人が食事にフラックスを加えることで、消化障害・高コレステロール・心臓病などに健康効果が得られる」という。

山田氏は次の様に総括する。「予防医学は検診することではない。生命活動の維持のために、毎日食べる中で実行しなければ。生の野菜や果物は酵素の宝庫。今までの分は、生の野菜と果物のジュースだけで3日間断食して欲しい」。

最後に、「一番大事なのは健康です。殆どの人が、お金が幸せをつくると思っている。でも、それはエコノミークラスの幸せ。あなたと、あなたの家族と、日本の社会を変えましょう」と呼びかけると、会場からは大きな拍手が湧き起こった。

日本の色校正市場の現状
コニカミノルタグラフィックイメージング（株）杉山 晴美氏

色校正市場ではCTPが成熟期となり、ポジフィルムを出力するということがほとんどなくなった。また、平台校正機の販売が終了し、「今年がデジタル色校正元年」と杉山氏。

2007年現在、校正にはレーザープリンタ、インクジェットプリンタ、網点系DDCP、本機印刷機が使用されており、生産現場でもデザインから印刷まで「皆さんのところでもデジタル化が進んでると思いますが、校正については未だにアナログが残っているのが現状」という。

そこで、業界全体の色校正の実態調査のため、コニカミノルタでは独自のアンケートを行ったところ、初校について、2000年からの6年間で校正刷りが92%から47%（内90%が平台校正）と確実にデジタル化は進んでいるものの、まだその比率は高いという結果が出た。

平台校正の実態として、（1）校正機はもう販売していない（2）印刷物と色が合わない（3）2枚と同じものは作成できない（不安定）（4）納期がかかる（5）コスト高（6）廃液等の環境問題、が挙げられるが、杉山氏は「平台校正をデジコンに変えれば、これらの問題は改善できる」と提言する。

一方で、デジタルプルーフの問題点は、（1）オフセットに比べて綺麗すぎる（2）固定の紙白で印刷物とのギャップが出る、というもの。「これらを解決するデジタルプルーフが出現して、業界全体でデジタル色校化啓蒙を進められれば」という。

具体例として、現在の外注コストが250万円/月だった場合、100%デジタルで内製化すると150万円/月程度、50%で80万円/月程度のコストダウンができるし、（但し、同社のデジコン・プレミアムを使用の場合）また、現実的には「全てをデジコンにするということではなく、必要があればインクジェットと併用するなど、用途に応じて使い分ける」必要があると付け加えた。

●下段広告スペースは、コミュニティスクエア参加企業のための広告スペースで、企画・デザイン・制作、全て各会社が手掛けた作品です。掲載は無料です。奮ってご参加下さい。

Process Revo
New Open!
デザインTシャツ専門オンラインショップ
「シンプル★かわいい★カッコイイ」個性的なデザインTシャツがいっぱい!
プレボストア　検索
prevostore.com
デザインTシャツ専門オンラインショップ
有限会社 プロセス・レボ　東京支社 ☎03-6267-7064 FAX 03-6267-7134 revo@star.ocn.ne.jp　札幌本社 ☎011-271-5201 FAX 011-271-5203 revo@ai.wakwak.com

Giclée（ジークレ）
最高級絵画複製プリント
シルクスクリーン、リトグラフに続く、現代最高の技法
思わず触れてみたくなる高再現性！
油絵の立体感や水彩画の繊細さまで
300万色以上の表現力で、水彩画やパステルの繊細なタッチや微妙な色合い、油絵の迫力ある重量感など、印刷では再現しきれない質感がしっかりと再現されます。ジークレで制作した複製画は、実物と変わらない美しさ。拡大・縮小も思いのままですので、インテリアにもピッタリです。その驚くべき再現性と品質の高さは、国内外のアーチストからも注目されています。
世界中のアーティスト達が注目!!
最大出力サイズ AOサイズ
E&E Elint and Edition Digital Process
株式会社イーアンドイー
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル
TEL 03-6212-0234（代表） FAX 03-6212-0242
http://www.eande.co.jp/

軟質フィルムの印刷・加工承ります!!
UVオフセット印刷による
スピード対応!!
ブックカバー、ペンケース、クリアファイル等、ノベルティー商品の印刷・加工業務承ります!!
株式会社 SYSTEM NAMU（システムナム）
本　社　〒794-0831 愛媛県今治市桜井2-6-3 TEL 0898-48-4141
東京営業所　〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1丁目1番1号 パレスサイドビルディングB4 竹橋プリンティングセンター3
（担当：中村）　TEL 03-6267-7003 FAX 03-6267-7073